瀬田川プランクトン調査結果速報

～第18報～

NEW 2004年1月からピコ植物プランクトン情報を追加しました。

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成16年8月2日

１．最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種

***Cryptomonas* sp.**
（クリプトモナス）
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。

動物プランクトン第1優占種

Nauplius
（ノウプリウス）
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント
植物プランクトンは、クラミドモナスやクリプトモナスが観察されたが、総細胞数としては少なかった。動物プランクトンは、ノウプリウスが多かった。その他にネコゼミジンコやテマリワムシが観察されたが、植物プランクトンと同様に個体数は少なかった。ピコ植物プランクトンは、70,000cells/ml（深赤色80%）と先週の4分の1以下に減少した。

２．見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

（１）動物プランクトン

第　1　優　占　種		個体数（個体／l）
甲殻類	Nauplius	50

第　2　優　占　種		個体数（個体／l）
甲殻類	*Ceriodaphnia quadrangula*	30

＊個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成16年8月2日　　**第18報**

(2) 植物プランクトン

(綱) 種　　名	細胞数 (群体数)	優占種 (占有率)	
		数	体積
(褐) *Cryptomonas* sp.	60	◎	◎
(褐) *Rhodomonas* sp.	20		
(緑) *Chlamydomonas* sp.	60	◎	○
(緑) その他の緑藻	30		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	0	0.0	0.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	47.1	73.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	90	52.9	27.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総　細　胞　数	170	総体積 (μm^3)	1.44E+05
種　類　数	4		

注1) 細胞数の単位は (細胞／ml)
ただし＊印の種は群体数 (群体／ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率 (単位：%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数 (細胞数)

ピコ植物プランクトン数	8月2日　細胞数／ml
藍藻 類　*Synechococcus* sp.	70,000

注1)　プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2μm (1μmは1mmの1,000分の1) の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。